

# 次期岐阜県DX推進計画(仮称) の方向性(案)

1. 現行計画の総括 …(P2~4)
2. 社会情勢の変化 …(P5)
3. 策定の方向性(案)…(P6)

岐阜県総合企画部未来創成局

R8.6時点

# 1. 現行計画の総括(1/3) – 現行計画の概要

## 考え方

### 1つの理念

#### 誰一人取り残されないデジタル社会

> 全ての県民が恩恵を享受できる、  
安全・安心なデジタル社会

### 3つのコンセプト

#### DXで生活を

「豊かに」 > 多様な価値観やライフスタイルを持ち、  
豊かな人生を送ることのできる社会

「安心に」 > どの世代も健康で生活し、  
安心して子育てができる社会

「便利に」 > 役所に赴くことなく、  
全ての手続きが自宅のできる社会

### 5つの基本的視点

利用者目線 > 県民・利用者のための改革

支援機関と連携 > 地域に根差した岐阜県ならではのDX

若者の自由な発想 > 従来生まれにくかった価値の創造

小さな成功の集積 > チャレンジングな取組と検証の実践

アナログの価値 > 個性や伝統、文化とデジタルの融合

## 内容

### 3本の柱

行政のデジタル化  
市町村行政のDX支援  
各分野のDX

地域づくり／防災／環境／  
文化／医療／健康／高齢者・  
障がい者福祉と活躍／子育て・  
家庭支援／女性の活躍／産業・  
労働／観光／農畜水産業／  
林業／社会インフラ・建設業／  
教育／警察（計16分野）

## 進捗管理

### 71の成果指標

毎年度の報告・HP公表

# 1. 現行計画の総括(2/3) – 具体的な取組例

## 行政のデジタル化

### ●行政手続のオンライン化

【県立高校入試のオンライン出願システム】

◆出願者・中学校・高校の業務を含め、出願に関する手続を**一気通貫でデジタル化**

○教職員の業務負担を大幅に削減

→年間約**35,000時間**、費用換算約**1.5億円**

○申請内容のチェック機能、オンライン決済機能など、出願者の利便性が向上



## 市町村行政のDX支援

### ●地域課題解決に向けたDX推進

【笠松町の事例】

◆地域課題: 行政窓口改革(書かない窓口)

◆LINE等によるオンライン行政手続導入

○町、PTA連合会、大学、社会福祉協議会等の連携を促進、計**42手続**までオンラインで**可能に**



## 各分野のDX

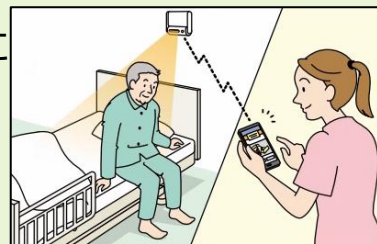
### ●介護ロボット(見守りセンサー)の導入補助 (介護分野)

◆介護事業者による介護機器導入へ補助を実施

○離れた場所から利用者の様子を確認でき、

夜間の見回りの負担が減少

○転倒事故等の防止や早期発見による、**サービスの質の向上**



(出典)介護ロボット等のパッケージ導入モデル (改訂版)～介護ロボット取組事例集～ 厚生労働省発行(2024)

### ●新技術の活用による社会インフラの点検 (社会インフラ・建設業分野)

◆ドローン等の新技術を橋梁、砂防施設等の点検に使用

◆路面を撮影した動画をAI解析して補修時期等を判定

(令和8年度～)

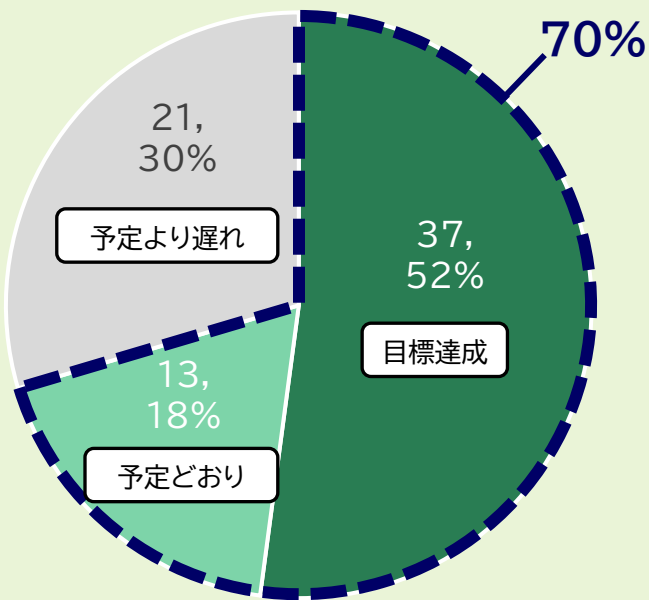
○高所作業での作業が不要となり、**コスト縮減・安全性向上**

○交通規制が不要となり、**工事に伴う渋滞緩和**



# 1. 現行計画の総括(3/3) - 成果指標の達成状況

計画全体の達成状況 (n=71)



KPIは**50/71**で達成見込み

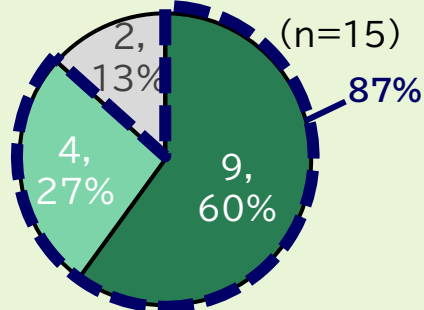
- 凡例
- 目標値を達成
  - 予定通り進捗 ※
  - 予定通り進捗していない

※4年経過時点のため、実績値が目標値の80%以上であれば「予定通り進捗」

3本柱ごとの達成状況

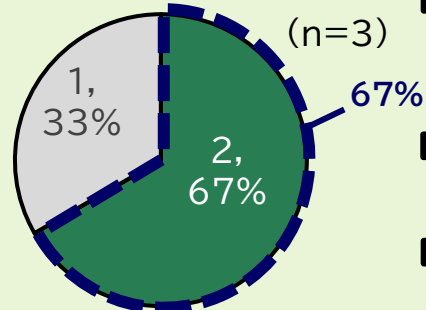
主な指標:達成率(達成状況別)

## I 行政のデジタル化



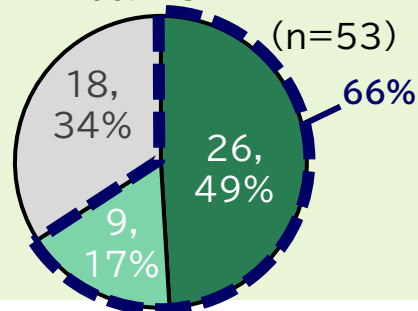
- (達成率100%以上) 県内広域オープンデータセット数:**131%**
- (達成率80%以上) RPA導入事務数:**95%**
- (達成率80%未満) 県内のローカル5G等のネットワーク整備:**33%**

## II 市町村行政のDX支援



- (達成率100%以上) 地域課題解決に向けた連携推進の枠組みの構築:**250%**
- (達成率80%以上) -
- (達成率80%未満) 全市町村の基幹業務の標準化・共通化完了:**5%**

## III 各分野のDX



- (達成率100%以上) 森林整備事業の調査・検査等にICTを導入・活用する林業事業体数:**100%**
- (達成率80%以上) 子育て支援員研修・保育士等キャリアアップ研修でのeラーニング受講者数(累計):**82%**
- (達成率80%未満) 環境学習用のポータルサイト閲覧回数:**36%**

## 2. 社会情勢の変化

### ○現行計画の5年間(2022年～2026年)における社会情勢の変化

- ・新型コロナの影響による、**県民の暮らし・仕事を取り巻く環境の激変**
- ・特に生成AIをはじめとした、**AI・デジタル活用の可能性の急速な進展**



### ○その先の未来に想定される社会情勢の変化と課題

#### 人口減少・少子高齢化の更なる進行

- ・人口減少下において、行政機能を**どのように維持・全体最適化していくか**
- ・安心とワクワクにあふれ、人とモノが集まる岐阜県に向け、**デジタル技術をどのように活用するか**

#### 気候変動による災害の激甚化・頻発化、新たな感染症危機の発生

- ・デジタル技術を活用した点検・補修の効率化など、**行政インフラをどのように維持するか**
- ・被災情報や避難情報、感染症関連情報等の**データをどのように収集・発信し、県民の生命を守るか**

#### 革新的な技術の誕生・発展

- ・日々目まぐるしく進化する技術を**どのように見極め、県が目指す社会の方向性と照らし合わせながら、社会にどう実装していくか**
- ・セキュリティリスクの増大や偽情報の拡大など、デジタル技術の**弊害をどのように克服するか**

### 3. 策定の方向性(案)

#### 次期計画で目指すこと

「30年後の理想の社会」  
(次の世代が活躍する頃に  
どんな社会であるべきか)  
から、今やるべきことを導く

ただ導入するだけではなく、  
実際に使ってもらおうことを  
重視して、県民に利便性を  
実感してもらおう

計画の内容・成果を  
県民に分かりやすく示す



#### 現行計画から見直すこと

3本柱	「Ⅰ 行政のデジタル化」⇒ 実装・利用拡大 便利で使いやすいデジタルツールを実装し、 県民が利便性を実感できる形で行政の変革を進める
	「Ⅱ 市町村行政のDX支援」⇒ 取組強化 共同調達・共同利用等を活用した広域連携の更なる推進 小規模自治体への支援を特に強化する
	「Ⅲ 各分野のDX」⇒ 見直し 16に細分化された行政分野を県民目線で見直し 実装を進め、県民・企業等における利用拡大を目指す
成果指標	設定数 71 ⇒ 簡素化 分かりやすい内容・成果重視で厳選 施策を縛りすぎず、必要な施策を柔軟に実施する
新規事項	AIの積極的な活用 最新の動向を収集・評価し、機動的に施策に反映 人間中心の活用を進め、前向きな変化を実感してもらおう
	働いてもらい方改革の推進 デジタル技術の活用により働く時間や場所を柔軟に 特に中小企業における業務効率化・生産性向上を目指す